

福祉現場の看取り研修【シラバス】

福祉研修センター

1 研修事業名	平成 30 年度福祉現場の看取り研修
2 事業目的・ねらい	利用者の重度化や高齢化が進んでいる。また看取り介護加算の充実を受けて、看取りに取り組む事業所が増え、現場は試行錯誤が続いている。利用者の人生や生活を支援する介護職に対して期待や要望が高まっている中、死生観についての学びや、人の死についてどう考え向き合うか、ご本人の死やご家族にどう寄り添うか、介護職だからこそできる看取りを学び、介護職の専門性と役割を身に着ける。
3 到達目標	<ol style="list-style-type: none"> (1) 看取り介護における介護・福祉の専門性と価値を見出す。 (2) 身体介護からコミュニケーションの方法、スピリチュアルまでの実践方法を学び、利用当事者の苦痛を理解し緩和できる。 (3) 残されたLifeに意味と価値を生み出し尊厳と安らぎの中で生きることができる介護方法を身に着ける。 (4) 介護職自身の死生観を自覚し、ケアリングする関係を見出すことができる
4 対象者	県内の社会福祉施設・事業所等における介護・相談・支援リーダー、訪問事業所のサービス提供責任者、障害福祉サービス事業所のサービス管理責任者、介護支援専門員・相談支援専門員他

5 科目名	看取り期の方への介護方法と介護の役割～最期までその人らしく生き抜くために～
6 講義担当者名	佐々木 炎氏（ホッとスペース中原代表）
7 講義の日程	平成 30 年 11 月 13 日（火）、11 月 14 日（水）の 2 日間 各日 10 時～16 時
8 時間数	2 日間とも 6 時間（休憩時間含む）
9 講義の方法	講義・演習
10 科目のねらい	（上記、2. 事業目的・ねらいと同じ）
11 科目の内容	<ol style="list-style-type: none"> ① 看取りの介護とは何か ② 看取り介護で護るべき理念（見方と態度）人間としての尊厳を護る ③ 看取り期の身体的介護 ④ 看取り期の存在を支える
12 使用テキスト	講師作成のレジュメ
13 使用機材	パソコン、プロジェクター